

◆好日 四月号 発行人 好日編集委員会
通巻八三二号 第七十巻 総頁数六二頁
*野末一作品鑑賞(第十六回)

『野末一遺歌集』から三首を抄出し、四人が評している。一首を挙げる。

・成績簿机にならべ何かしら人の秘密をおかす気がする

教師としての職務を「『人の秘密をおかす気がする』と表現するところに教師と生徒という縦の関係だけではなく、ひとりの人間として生徒をみつめる作者ならではの視線が宿っているように思う」(関口博美)

*火の思想

久田 泰子

「短歌では『火』をどのように歌っているのかを探る」として三首を挙げて鑑賞している。そのなかの一首。

・こゑひくき帰還兵士のものがたり焚き火を
継がむまへにをはりぬ 斎藤 茂吉

『小園』からの一首。「兵士には話したいことがたくさんあるに違いない。しかし焚き火をみていると、喉元までくる言葉が飲み込んでしまうのであろう。人であることの悲しみがそうさせるのだ。火にはそんな力がある」と。

*二〇二一年好日全国大会詠草集

誌上大会の詠草、一四八首が載る。

・出窓には夕陽見つめる猫のいたわが家の

記憶のひとつが沈む
・青鷺の叫びひとすじ渡る夜半 父より十年長くを生きる

◆歌と観照 四月号 編集人 五十嵐順子
第九一卷(通算一〇二六号) 総頁数七二頁

*歌書鑑賞

太田 節子

塩川治子著『歌人番外列伝―異色歌人逍遙』について紹介している。「番外列伝」には、石牟礼道子、福永武彦、高群逸枝など三十名。他分野の世界で名が知られ、条

最近の 歌誌より

好日
歌と観照
鮎

(藤田)

件の一つに歌集を出していることを原則としたとのこと。

・この世の外とおもひしことのひとつにて

わが蠍座の星は燃えたる 大伴 道子

大伴は辻井喬(堤清二)の母。「夫(堤

康次郎)に隠れて詠んだ歌の数々。歌を支

えに、壮絶な人生を受容した」とある。

「多くの歌人らは、揺れながら、喘ぎながら、詠いながら、魂の世話をし、魂の置き場所を探し、求めたのではないか」と。
「異色歌人逍遙」には、上田秋成、樋口

一葉など十人が挙げられ、『表舞台の歴史より裏に流れる人間の運命』を呈して、興味深い」と結ぶ。

◆鮎 四月号 発行人 湯沢 千代
通巻第四一七号 総頁数 三八頁

*時評

山中 真知

「新しい生活様式を詠む 詩歌句の試み」と題し、「短歌往来」二〇二〇年十二月月号特集「題詠による詩歌句の試み18」を紹介している。特集は、新型コロナが猛威をふるう昨今、詩、短歌、俳句がジャンルを超えて交流する場として設けられたという。取り上げられている短歌のなかの二首。

・マスクの奥に青く空洞があるやうなまな

ざし向けて秋の日の妻 荻原 裕幸

・ウイルスの足あととして世界地図上にあ

かあかと円塗り重ね 東 直子

*自歌自註 島崎 榮一

第一歌集「鮎」より二十七歳の時の作。

・ふとありて呼吸する夜の鮎見れば鯉ふか

ぶかと裂けて泳げり

「鯉は首の付け根にあって息をするたびに包丁の傷さながらに組織の内部が動くの

だった。小魚の連続動作がいたましいと言っ

ても生の哀れさに過ぎないのだが、少年の

ような気持ちでころおそれつつ見たので

ある」との注釈がある。

第26回実務委員会・報告

2021・春

二〇二一年春期の実務委員会は、集まっていた会議はまだ行えないため、書類の郵送によって行いました。

二〇二〇年度の決算・二〇二一年の予算・総務部報告・編集部報告・A欄推薦者について・二〇二二年開催予定の「地中海創刊70周年記念全国大会」に関するアンケートがあり、決算・予算・A欄推薦者等、承認が必要なものについてはすべて承認されました。

それを受けて、支社・グループ長宛に運営連絡会の資料としてお送りしました。今年も全国大会が中止になっておりますので、運営連絡会を行うことはできません。何かございましたら、総務部長の藤森までご連絡ください。

◆二〇二一年・A欄昇格者◆

浅川広子（凌箱）・藤田しん子（大阪）

松谷公注（斑鳩）・松野正子（地）

富岡明子（地）・伏見富美恵（紅風）

辻田聡美（紅風）

※十月号（八月十日締切の原稿）からA欄です。

作品は毎月七首まで。会費についても十月からA欄会費になります。すでに一年分を前納されている方は、差額分を納入してください。

よろしく願います。

◆二〇二二年開催予定だった全国大会について

実務委員のアンケート結果は、「開催する」と「開催しない（延期する）」が同数でした。そこで、出された具体的な意見を委員全員で共有し、さらに慎重に協議しました。

二年続いて全国大会が中止になったこともあり、また、地中海創刊70周年の記念大会ということもあり、なんとか来年開催できないものか、やれるとするなら計画まで立てて取りやめになった浜松でならどうだろうか、というような意見も出されましたが、新型コロナウイルスによる現状、先の見通しも立たない中では慎重にならざるを得ず、次のような結論になりました。

コロナ禍の収束が明らかになり、皆さんが安心して移動したり会食できる状況になったところで、開催の準備に入る。

来年こそと、心待ちにされていた方もおられたと思いますが、参加者の安全を考えると今はまだ計画できる状況ではないというのが、委員全員の総意です。ご理解ください。安心して移動や会食ができる日が一日も早く来るようにと願っています。

◆総務部報告

本社（神田カトランビル）に集まっていた会議や作業はできないままの状態が続いています。会計（永塚・大浪）、及び原稿用紙担当（茂木）は、基本的に自宅で作業をしています。必要に迫られることがあり何度か本社に通っています。名簿・入退会管理・本誌発送（藤森）、庶務（小野）は、本社に定期的

に通ってくれている磯田さんの手を借りて、ほぼ自宅での作業になっていきます。本社にいろいろな郵便物が届くのを定期的に発行しては磯田さんが各担当に振り分けて送ってくれています。

◆編集部報告

編集作業は久我が自宅です。宅急便や郵送で印刷所に原稿やゲラを送り、メールや電話等で他とも連絡を取り合って作業を進めています。校正は、分担して各自の自宅でやってもらい、それを久我が集約し見直した後に入稿しています。校正協力者は関根(和)・茂木・藤田・永塚・大浪・三好・久我、及び新樹の会の大寺・穴戸・鉄地川原・江尻、伊豆支社の阿藤の各氏です。作業を終えたらすぐに発送してくれるので、滞りなく毎号の発行ができています。皆さんのご協力の賜物です。

編集・校正以外の編集委員の分担は、シルクロード・カフェ(木村)・遊覧寄港(玉井)・〇〇あッラカルト(三好)・アンソロジー(檜垣)・写真歌合わせ(田土)・最近の歌誌より(藤田・高尾)・作品批評(磯田)・送風塔(関根)。二十首詠・今月の二人・歌壇月旦・歌集批評等は久我です。

●実務委員

編集部：久我田鶴子・関根和美・磯田ひさ子

市原志郎・木村文子・高尾恭子・田土成彦

玉井綾子・檜垣美保子・藤田美智子・三好聖三

総務部：藤森巳行・小野雅子

永塚節子・大浪美雪・茂木 斌

監査委員：佐久間 晟・牧 雄彦

地中海創刊70周年記念号の発行に向けて

来年(二〇二二年)の五月号をもって、創刊70周年記念号とします。平常の五月号に記念誌を合わせた形のものにする計画で準備を進めています。

・内容 ①写真

②地中海の七十年(50周年以降を中心に)

③地中海誌年表(平成十四年・第50巻)

④地中海の作家論

佐久間晟・柏原宗一・山村金三郎・関根榮子
加藤紗千子・松浦禎子・松永智子

⑤物故同人小伝

⑥全国大会記録(第50回)

⑦地中海叢書一覽(第744篇)

※担当者：③高尾・藤田、④三好・関根(和)、

⑤田土・木村、⑥磯田・檜垣

④については、原稿の依頼まで進んでいます。

⑤についても、これから原稿依頼に入ります。

ご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

* * * * *

平成十四年は二〇〇二年。香川進・山本友一・桃原邑子といった地中海の根幹をなした方々が世を去られて以後の地中海の二十年間を振り返るものとなります。その間に、本社も赤堤の香川邸から神田カトランビルに移りました。

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応できませんので、ご了承ください。

■会費納入について

二〇二一年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。

各欄の月額は次の通りです。

- ・ A 欄 二〇〇〇円
- ・ B 欄 一五〇〇円
- ・ C 欄 一〇〇〇円
- ・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勧誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただける幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて

一冊一五〇円。それに送料がかりますので、まとめての申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただけます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、

①歌集名(未定の場合には仮題でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩〈新装版〉』注文受付ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、

左の口座へお願いします。

00180・2・790055 九曜書林
本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありますが、常駐する者おりませんので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、
・ 藤森: 090-8301-6423
・ 久我: TEL&FAX 043-241-7925
までご連絡ください。



JK

